

展示会 マンホール鉄蓋 (てつぶた)

下水道といえば、やっぱりマンホール。ここでは伊勢崎市内で実際に使われているマンホール鉄蓋をご覧ください。直径60センチメートルの中に描かれた路上のアート、あなたはいくつご存じでしたか？



赤

堀地区に多く見られる蓋で、中央に描かれているのは赤堀茶臼山古墳から出土した家形埴輪で、旧赤堀町の花木であったサルビア、ケヤキも描かれています。

平成20年頃まで赤堀地区の農業集落排水と公共下水道の整備時に設置されました。



市

内で最も多く見られるマンホール蓋です。市章を中央に配置し、市の花の一つであるツツジを全面にあしらったデザインとなっています。

現在も公共下水道を整備する時に設置されており、代表的なマンホール蓋といえます。

水

田の生き物として知られるカブトエビを描いたマンホール蓋です。平成10年頃まで伊勢崎地区の農業集落排水を整備するときに設置が行われていました。

安堀町や波志江町、三和町の一部などで見ることができます。



東

地区の公共下水道供用区域で使われている蓋です。絵柄は定番の花木を取り入れたもので、旧東村の花木であったキクとサザンカが描かれています。

平成16年頃まで設置が行われており、田部井町二丁目などで見ることができます。



自

動車やオートバイのスリップ対策を目的として作られたマンホール蓋です。

スパイクシューズの靴底を思わせる無骨なデザインとなっています。

多数の突起がタイヤのスリップを防ぐため、主に交差点で使われています。



新

たに制作した蓋で、市PRキャラクター「くわまる」と市の花4種の絵柄です。

「くわまる」が青い地球を抱くデザインは、下水道を活用して豊かで美しい水を守ってほしいという思いから取り入れました。

境

地区の公共下水道供用区域で見られるマンホール蓋です。旧境町の町章を中心に置き、町の花木であったスイセンとクロマツが描かれています。

上段には町を代表する行事であった利根川花火大会の描写があり、目を引きます。

ス

スイセンの花の輪の中に、境島村地区で運行されていた渡船の風景を描いた蓋です。この蓋を見ると懐かしさを感じる人もいるのではないのでしょうか。

平成初期の污水管整備で設置されたもので、境保泉で見ることができます。



下水道の大事な役割

自然環境を守ります



川や海をきれいにします

わたしたちはきれいな水を使って生活しています。水を使うということは、水を汚すということです。汚した水をきれいにして自然に返すのは、わたしたちの役目です。下水道は、きれいな川や海を守ります。

快適なトイレが使えます



お手入れもラクになります

浄化槽の清掃や汲み取りの手間がかかりません。清潔な水洗トイレが快適に使用できます。

街を浸水から守ります



雨水がたまりません

現代の都市の多くは平地に発達しています。そのため、大雨のときなど、排水がスムーズにできず、しばしば浸水に悩まされることになります。下水道には、川や水路と同じように、雨水がたまらないようにする役割があります。

街をきれいにします



汚れた水を流しません

汚れた川は悪臭や害虫の発生源となります。下水道を整備することによって、こうした汚れた川や汚い水たまりがなくなります。美しいだけでなく、衛生的な街づくりにも役に立っています。